

# 日本子ども虐待防止学会

## 第24回 学術集会 おかやま大会

### 想いをつむぐ



会期

2018年11月30日金・12月1日土

会場

2018年11月30日金 倉敷市民会館

2018年12月1日土 川崎医療福祉大学

大会長

御牧 信義 (倉敷成人病センター 小児科主任部長)

演題募集

募集開始は 2018年2～3月頃を予定しています

主催

一般社団法人 日本子ども虐待防止学会  
日本子ども虐待防止学会 第24回学術集会おかやま大会実行委員会

お問い合わせ

おかやま大会事務局 (倉敷成人病センター内) TEL : 080-9794-2111 FAX : 086-422-4150  
Mail kmc\_crnc@fkmc.or.jp

JO-SPCAN  
OKAYAMA



大会長 御牧 信義  
倉敷成人病センター  
小児科部長 / 小児神経科医

このたび、日本子ども虐待防止学会第24回学術集会おかやま大会を開催することになりました。開催地は倉敷市です。岡山県では初の開催となり、目下、準備に追われております。

大会のテーマは「想いをつむぐ」です。県下の多くの関係者がおかやま大会に向けて、これまで培ってきた県下の子ども虐待防止ネットワークを更に強化して各自の想い、組織の想いなどを縦に、横に紡いでいく中で、子ども虐待対応ネットワークを強化し、そして大会後にも持続可能な形で残るように出来たらと思っています。

現在、特別講演、大会企画シンポジウム、教育講演など多くのプログラムを企画していますが、私たちは「子ども虐待発生の予防」を重点項目として取り組みたいと思っています。そのなかで子ども虐待の重大な原因である子どもの貧困に注目し、私たちが現在どうしたらいいのか、社会の持続可能な取り組みはどうしたらいいのかを考えたいと思います。

おかやま大会が子ども虐待の発生予防、そして皆様の日々の子ども虐待防止活動の一層の発展に少しでも寄与できるようにと真剣に考えております。

岡山で多くの皆様にお目にかかれることを、こころよりお待ち申し上げます。

## 主なプログラム

### 特別講演

大谷美紀子 国連子どもの権利委員会委員

## 「子どもに対する暴力の根絶—あらゆる取組みと関係者をつなげ強化しよう (仮)」

大会企画シンポジウム (現在、鋭意企画)

「子どもの貧困対策の今」 子ども虐待の重大原因、届かぬ子どものSOSをどうする？  
貧困の連鎖をどうする？

「子どもの貧困対策、視点を変える」 子どもの貧困を現代的・社会的視点で見る  
持続可能な社会的支援は「未来への投資」

教育講演 (現在、鋭意企画中)

虐待事例にみる親のメンタルヘルス問題

司法面接の現実と課題

社会的養護、その進む道

妊娠期に始まる切れ目のない包括的支援

虐待予防の地域への展開 (世代を超えた交流による予防)

発達障害と愛着障害の類似と相違をふまえたサポート

Child Death Review、その持つ意味

エピジェネティクスって何? :DNAだけによらない遺伝のしくみ 他

## ACCESS おいでんせえ、くらしき



※朝の時間帯は渋滞による遅延が予想されます。大会2日目に倉敷・岡山から川崎医療福祉大学へお越しの際はJR線をご利用下さい。